

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 16日

岐阜県知事 殿

提出者

住 所 岐阜市加納西丸町1丁目27番地

氏 名 株式会社 岐阜セラック製造所
代表取締役 尾木 大
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 058-272-0831

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 岐阜セラック製造所 池田白鳥工場
事業場の所在地	岐阜県揖斐郡池田白鳥北出143-1
計画期間	令和5年 4月 ～ 令和6年 3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	売上高 58 億円 (全社)
③ 従業員数	184 名 (全社)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	廃油 → 分析 → 混合エマルジョン化 → 補助燃料

(日本工業規格 A列4番)



(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	排出量	342.8 t	t
	(これまでに実施した取組) ・製造条件の検討による残渣の低減 ・蒸留残渣の固液分離による廃液削減		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	排出量	330 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・蒸留再生委託による廃溶剤の削減 ・連続生産により洗浄回数を減らす ・処分業者の見直し		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	全処理委託量	342.8 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	342.8 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・製造条件の検討による残渣の低減 ・蒸留残渣の固液分離による廃液削減 		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	
	全 処 理 委 託 量	330 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	330 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 蒸留再生委託による廃溶剤の削減 ・ 連続生産により洗浄回数を減らす		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	342.8	t
	(今後実施する予定の取組等)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

< 表 面 >

管理番号

廃棄物データシート(WDS)

※1 本データシートは廃棄物の成分等を明示するものであり、排出事業者の責任において作成して下さい。

※2 記入については、「廃棄物データシートの記載方法」を参照ください。

作成日 2023年 6月 16日

記入者 道越太太郎

1 排出事業者	名称 株式会社岐阜セラツク製造所 所在地 〒500-8608 岐阜県岐阜市加納西丸町1-27 所属 製造部 担当者 道越太太郎 TEL 058-272-0831 FAX 058-272-0704
2 廃棄物の名称	引火性廃油
3 廃棄物の組成・成分情報 (比率が高いと思われる順に記載)	主成分 ワックス 10~20% 他 有機溶剤 80~90% トルエン, キシレン, エチルベンゼン 酢酸ブチル, ブチルセロソルブ 等 MSDSがある場合、CAS No.
<input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	・成分名と混合比率を書いて下さい。ばらつきがある場合は範囲で構いません。 ・商品名ではなく物質名を書いて下さい。重要と思われる微量物質も記入して下さい。
4 廃棄物の種類 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物 <input checked="" type="checkbox"/> 特別管理産業廃棄物	<input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 引火性廃油 <input type="checkbox"/> 強アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 鉱さい(有害) <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(有害) <input type="checkbox"/> 引火性廃油(有害) <input type="checkbox"/> 感染性廃棄物 <input type="checkbox"/> 燃えがら(有害) <input type="checkbox"/> ばいじん(有害) <input type="checkbox"/> 強酸 <input type="checkbox"/> PCB等 <input type="checkbox"/> 廃油(有害) <input type="checkbox"/> 13号廃棄物(有害) <input type="checkbox"/> 強酸(有害) <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 汚泥(有害) <input type="checkbox"/> 強アルカリ <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃酸(有害)
5 特定有害廃棄物 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(廃棄物処理法)	アルキル水銀 (×) トリクロロエチレン (×) 1,3-ジクロロプロパン (×) 水銀又はその化合物 (×) テトラクロロエチレン (×) チウラム (×) カドミウム又はその化合物 (×) ジクロロメタン (×) シマジン (×) 鉛又はその化合物 (×) 四塩化炭素 (×) チオベンカルブ (×) 有機燐化合物 (×) 1,2-ジクロロエタン (×) ベンゼン (×) 六価クロム化合物 (×) 1,1-ジクロロエチレン (×) セレン (×) 砒素又はその化合物 (×) シス-1,2-ジクロロエチレン (×) ダイオキシン類 (×) シアン化合物 (×) 1,1,1-トリクロロエタン (×) 1,4-ジオキサン (×) PCB (×) 1,1,2-トリクロロエタン (×)
6 PRTR対象物質	届出事業所 (該当・非該当)、委託する廃棄物の該当・非該当 (該当・非該当) ※ 委託する廃棄物に第1種指定化学物質を含む場合、その物質名を書いて下さい。
7 水道水源における消毒副生成物前駆物質	<input type="checkbox"/> ヘキサメチレンテトラミン(HMT) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルヒドラジン(DMH) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルアニリン(DMAN) <input type="checkbox"/> トリメチルアミン(TMA) <input type="checkbox"/> テトラメチルエチレンジアミン(TMED) <input type="checkbox"/> N,N-ジメチルエチルアミン(DMEA) <input type="checkbox"/> ジメチルアミノエタノール(DMAE) <input type="checkbox"/> 1,1-ジメチルグアニジン(DMGu)
8 その他含有物質 ()には混入有りは○、無しは×、混入の可能性があれば△ <input type="checkbox"/> 分析表添付(組成)	硫黄 (×) 塩素 (×) 臭素 (×) ヨウ素 (×) フッ素 (×) 炭酸 (×) 硝酸 (×) 亜鉛 (×) ニッケル (×) アルミ (×) アンモニア (×) ホウ素 (×) その他 ()
9 有害特性 (有・無・不明)	<input type="checkbox"/> 爆発性 <input checked="" type="checkbox"/> 引火性(°C) <input type="checkbox"/> 可燃性 <input type="checkbox"/> 自然発火性(°C) <input type="checkbox"/> 禁水性 <input type="checkbox"/> 酸化性 <input type="checkbox"/> 有機過酸化物 <input type="checkbox"/> 急性毒性 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 腐食性 <input type="checkbox"/> 毒性ガス発生 <input type="checkbox"/> 慢性毒性 <input type="checkbox"/> 生態毒性 <input type="checkbox"/> 重合反応性 <input type="checkbox"/> その他()
10 廃棄物の物理的性状・化学的性状	形状(固形~スラリー 臭い(有機溶剤臭) 色(白~褐色) 比重(0.9) pH () 沸点(100~140°C) 融点() 発熱量() 粘度() 水分()
11 品質安定性	経時変化(有(無) 有る場合は具体的に記入)
12 関連法規	危険物(消防法)・特化則(特定化学物質障害予防規則)・有機溶剤・毒劇物・悪臭
13 荷姿	<input checked="" type="checkbox"/> 容器(クローストラム) <input type="checkbox"/> 車両() <input type="checkbox"/> その他()
14 排出頻度 数量	頻度(スポット・継続予定) (10) kg・t・L・m3・本・缶・袋・個 / 年・月・週・日

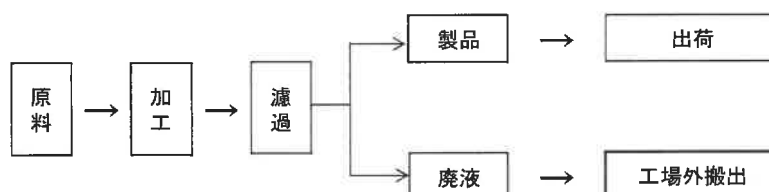
15 特別注意事項 (有 <input checked="" type="radio"/> 無)	※取り扱う際に必要と考えられる注意事項を記載 ・避けるべき処理方法、安全のため採用すべき処理方法 ・他の廃棄物との混合禁止 ・粉じん爆発の可能性 ・容器腐食性の可能性／注意点 ・廃棄物の性状変化などに起因する環境汚染の可能性 ・環境中に放出された後の支障発生の可能性(消毒用塩素等との反応により他の物質を生成し、水道取水障害に至る可能性等) 等
---	--

【参考】 その他の情報

・ サンプル等提供 (☒ 均一サンプル有 ・ 不均一サンプル有 ・ サンプルの一部分有 ・ サンプル無 ・ 写真有)

・ 産業廃棄物の発生工程等

「3廃棄物の組成・成分情報」を推定する根拠となる、使用原材料・有害物質・不純物の混入、排出場所がわかる発生工程の説明を書いてください。工程前からの持ち込み成分があれば書いてください。工程図への記入でも可。
(処理業者においては、不純物混入の可能性や廃棄物成分のブレ幅の推定、分析頻度等の判断材料となります。)



<排出事業者及び処理業者内容確認欄>

No.	内容確認日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	備考

<変更履歴>

No.	変更日時	排出事業者担当者	処理業者担当者	変更内容

The organizational chart of Nippon Kasei Co., Ltd. is structured as follows:

- Top Level:**
 - 会長 (Chairman)
 - 社長 (President)
- Second Level (Reporting to President):**
 - 役員会 (Board of Directors)
 - 品質管理責任者 (Quality Management Responsible Person)
 - 環境管理責任者 (Environmental Management Responsible Person)
 - 安全衛生委員会(防犯委員会含む) 品質管理推進委員会 法務プロジェクト (Safety and Health Committee (including Security Committee), Quality Management Promotion Committee, Legal Project)
- Third Level (Reporting to Board of Directors and Committees):**
 - 取締役 (Director)
 - 経営企画室 (Strategic Planning Office)
- Fourth Level (Main Departments):**
 - 工場場長 (Plant Manager)
 - 池田白鳥工場長 (Ikeda Shiratorigawa Plant Manager)
 - 大野鷲工場長 (Ono Shiro Plant Manager)
 - 輸出管理 (Export Management)
 - 営業部 (Sales Department)
 - 工場環境保全部 (Plant Environment Protection Department)
 - 工場管理部 (Plant Management Department)
 - 財務経理部 (Finance and Accounting Department)
 - 管理部 (Management Department)
 - 業務部 (Business Operations Department)
 - 資材部 (Materials Department)
 - 法務部 (Legal Department)
 - 品証保証部 (Product Assurance Department)
 - 開発部 (Development Department)
 - 化学製造部 (Chemical Manufacturing Department)
 - 天然製造部 (Natural Product Manufacturing Department)
- Fifth Level (Sub-departments and Functions):**
 - 営業部:** 輸出部門 (Export Department)
 - 工場管理部:**
 - 一部 (Section 1): 生産設備建設部門 (Production Equipment Construction Department)
 - 二部 (Section 2): 生産設備管理部門 (Production Equipment Management Department)
 - 財務経理部:**
 - 経理 (Accounting): 経理部門 (Accounting Department)
 - 電算統計室 (Computer Statistics Room): 税・関税課 文書管理課 (Tax and Customs Bureau Document Management Section)
 - 管理部:**
 - 総務・人事 (General Affairs/Human Resources): 総務部門 (General Affairs Department)
 - 資材 (Materials): 資材部門 (Materials Department)
 - 業務部:**
 - 物流 (Logistics): 物流業務部門 (Logistics Business Department)
 - 生産管理 (Production Management): 生産管理部門 (Production Management Department)
 - 資材部:** 資材 (Materials): 購買部門 (Purchasing Department)
 - 法務部:** 法務部門 (Legal Department)
 - 品証保証部:**
 - 保証 (Assurance): 品質保証部門 (Quality Assurance Department)
 - 検査 (Inspection): 分析・検査部門 (Analysis and Inspection Department)
 - 開発部:**
 - 分散品技術開発 (Dispersed Product Technology Development): 開発部門 (Development Department)
 - 樹脂製品技術開発 (Resin Product Technology Development): 開発部門 (Development Department)
 - 天然物開発 (Natural Product Development): 開発部門 (Development Department)
 - 化学製造部:**
 - 分散品製造 (Dispersed Product Manufacturing): 製造部門 (Manufacturing Department)
 - 樹脂製造 (Resin Manufacturing): 製造部門 (Manufacturing Department)
 - 天然製造部:**
 - 製造抽出 (Manufacturing Extraction): 製造部門 (Manufacturing Department)
 - セラック製造 (Ceracl Manufacturing): 製造部門 (Manufacturing Department)

人事上の組織

EMSTの役割

排出事業所産業廃棄物発生工程状況報告書

2023年 6月 16 日

産業廃棄物を発生する製造、加工工程(フローシート)

排出事業者	住所	岐阜市加納西丸町1丁目27番地
	氏名又は名称 及び電話番号	株式会社 岐阜セラックス製造所 058-272-0831

製造、加工品名 塗料用添加剤

